

2027 年度

入学試験要項

神奈川大学の入試は

インターネット出願

です

卒業生子弟・子女入学試験

外国高等学校在学経験者(帰国生徒等)入学試験

社会人入学試験

 神奈川大学

目次

I	神奈川大学の3つのポリシーと各学部のアドミッション・ポリシー	1
II	入試カレンダー	2
III	募集人員	3～4
IV	入学検定料	5
V	出願方法	6
VI	卒業生子弟・子女入学試験	7～10
VII	外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）入学試験	11～13
VIII	社会人入学試験	14～17
IX	受験上の注意	18～19
X	学費	20
XI	奨学金	21
XII	障がいおよび病気等のある方へ	22
XIII	入試結果	22
XIV	アクセス	23～24
XV	神奈川大学の個人情報（及び保有個人データ）の取り扱いについて	25



受験生向け チャットボットを導入しました！

受験生のみなさんの「今すぐ知りたい」をチャットボットが24時間いつでもサポートします！

勉強や学校生活で忙しい毎日。入試や手続きなどについて知りたいことがあるけれど、どこを調べてよいかわからない。そんなときは、あなたの疑問を即座に解決するチャットボットをぜひご活用ください！みなさんが受験準備をスムーズにできるよう応援します！

チャットボットは、大学公式ホームページの入試情報サイト右下にあるボタンからご利用いただけます。



I

神奈川大学の3つのポリシーと 各学部のアドミッション・ポリシー

神奈川大学の学士課程教育に関する基本方針（3つのポリシー）

本学は、「質実剛健」「積極進取」「中正堅実」の建学の精神と、真の実学を重視する伝統を踏まえ、自立した良識ある市民としての判断力と実践的能力、また、国際的感性とコミュニケーション能力を有し、さらに専門的知識と技能を身に付け、時代の課題と社会の要請に応じて自ら成長することのできる人材を養成するために、次の3つの基本方針を定めます。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）】

真の実学を重視する本学の教育理念に共感し、明確な目的意識とともに、学びや成長への強い意欲に溢れ、また、大学教育を受けるに足る、十分な学力を有する多様な学生を受け入れます。

この目的を実現するため、入試制度の多様化と選抜方法の改善を図るとともに、初年次教育の充実や高大連携を積極的に推進します。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

本学は、4年間の学士課程において、全学の学生一人一人に共通して修得が求められる学士として持つべき力の実現のため、全学共通の基礎教育と各学部・学科の導入教育とを有機的に関連させることにより、必要かつ十分な基礎的学力を修得させます。

また、各学部・学科では、その培われた基礎的学力を発展させる多様かつ高度な体系的専門教育課程を編成することにより、真の実学を具現します。

教育課程の実施にあたっては、「ゼミ・卒研の神大」の伝統を生かす少人数教育と双方向型授業をより充実させるとともに、学生の学習時間を確保し、また、成績評価を厳格化することによって単位制度の実質化をはかります。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

本学の学生は、本学の真の実学を重視する伝統を踏まえ、自ら成長し、かつ他者と協力しながら社会で生き生きと活躍できる人材となることが求められます。

そのために、幅広い教養と、新しい時代に必要とされる専門的かつ体系的な知識、また、それに裏打ちされた技能を修得し、さらに地球的視野をもって考え、語り合うとともに、他者との協働を追求し、問題解決に向けて実践できる能力を備えたと認められる学生に、学位を授与します。

各学部のアドミッション・ポリシー

神奈川大学では、学部ごとにアドミッション・ポリシーを定めています。

各学部のアドミッション・ポリシーは、本学公式ホームページに掲載されています。

<https://www.kanagawa-u.ac.jp/disclosure/education/policy/>



II 入試カレンダー

	2026/9月	10月	11月	12月	2027/1月	2月	3月	4月
総合型選抜（総合評価型）	出願期間 9/11~9/18	試験日 10/11	合格発表 11/1 一次手続 11/1~11/16 二次手続※1 11/1~1/26(手続書類提出1/11~1/26)					
総合型選抜（適性検査型）			出願期間 10/29~11/5	試験日 11/22	合格発表 12/1 一次手続 12/1~12/14 二次手続※1 12/1~1/26(手続書類提出1/11~1/26)			
公募制自己推薦入試 英語英文学科GECプログラム		出願期間 10/1~10/8	試験日 11/1	合格発表 11/6 一次手続 11/6~11/20 二次手続※1 11/6~1/26(手続書類提出1/11~1/26)				
公募制自己推薦入試 中国語学科 女子特別（工学部）	出願期間 9/11~9/18	試験日 10/11	合格発表 11/1 一次手続 11/1~11/16 二次手続※1 11/1~1/26(手続書類提出1/11~1/26)					
指定校制推薦入試			出願期間 11/6~11/13	試験日 12/6	合格発表 12/10 一次手続 12/10~12/21 二次手続※1 12/10~1/26(手続書類提出1/11~1/26)			
卒業生子弟・子女入試	出願期間 9/11~9/18	試験日 10/11	合格発表 11/1 一次手続 11/1~11/16 二次手続※1 11/1~1/26(手続書類提出1/11~1/26)					
外国高等学校在学経験者 （帰国生徒等）入試		出願期間 10/1~10/8	試験日 11/1	合格発表 11/6 一次手続 11/6~11/20 二次手続※1 11/6~1/26(手続書類提出1/11~1/26)				
社会人入試		出願期間 10/1~10/8	試験日 11/1	合格発表 11/6 一次手続 11/6~11/20 二次手続※1 11/6~1/26(手続書類提出1/11~1/26)				
外国人留学生入試				出願期間(郵送) 11/26~11/27	試験日 1/24	合格発表 1/29 一次手続 1/29~2/12 二次手続※1 1/29~2/25		
				出願期間(窓口) 11/30~12/3				
編入学試験		出願期間 10/1~10/8	試験日 11/1	合格発表 11/6 一次手続 11/6~11/20 二次手続※1 11/6~1/26(手続書類提出1/11~1/26)				
給費生試験				出願期間 11/25~12/3	試験日 12/20	合格発表 1/11 一次手続 1/11~1/26 二次手続※1 1/11~3/8		
大学入学共通テスト 利用入試（前期）					出願期間 1/6~1/15	合格発表 2/13 一次手続 2/13~2/25 二次手続※1 2/13~3/8		
大学入学共通テスト 利用入試（後期）						出願期間 2/12~2/19	合格発表 3/13 入学手続(一括手続) 3/13~3/17	
一般入試（前期）					出願期間 1/6~1/20	試験日 2/4・6・7・8	合格発表 2/18 一次手続 2/18~2/25 二次手続※1 2/18~3/8	
一般入試（後期）						出願期間 2/12~2/19	試験日 3/4	合格発表 3/13 入学手続(一括手続) 3/13~3/17

※1 学費は一括、分納が選択可能です。学費の納入は一次手続期間内に入学金とともに納入することも可能です。

III 募集人員

■ 2027年度 入試種別 募集人員一覧（文系学部）

学 部	法		経済						経営	外国語				国際日本			人間科	
	法律	自治行政	経済		経済 データ 分析		現代 ビジネス		国際経営	英語英文		スペイン語	中国語	国際文化 交流	日本文化	歴史民俗	人間科	
			文系型	理系型	文系 数学科型	理系 数学科型	文系型	理系型		IES プログラム	GEC プログラム							
入 学 定 員	600		900						530	350				300			350	
学科募集人員	400	200	520	80	300		530	160	40	90	60	170	60	70	350			
総合型選抜（総合評価型）	24	12	30	5	18		32	10	—	5	6	10	4	4	21			
総合型選抜（適性検査型）	28	14	25	3	15		37	11	—	6	4	12	4	5	25			
公募制自己推薦 （外国語学部英語英文学科GECプログラム 英語プレゼンテーション課題）	—	—	—	—	—		—	—	9	—	—	—	—	—	—			
公募制自己推薦 （外国語学部中国語学科中国語能力）	—	—	—	—	—		—	—	—	—	4	—	—	—	—			
全国商業高等学校長協会推薦 （経済学部・経営学部）	—	—	—	—	3		3	—	—	—	—	—	—	—	—			
外国高等学校在学経験者 （帰国生徒等）	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名		若干名	若干名	—	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名			
卒業生子弟・子女	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名		若干名	若干名	—	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名			
社会人	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名		若干名	若干名	—	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名			
外国人留学生	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名		若干名	若干名	—	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名			
国連UNHCR協会との協定による 難民を対象とする推薦	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名		若干名	若干名	—	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名			
給費生試験	給費生+ 一般入試免除		35	20	54	6	10	32	3	65	20	6	10	6	20	6	8	45
	給費生 （上記内数）		14		21				12	8				7			8	
一般入試	前期	全学統一型 + 3科目型	156	80	175	18	27	103	10	174	55	14	23	14	60	22	25	131
		得意科目型	12	6	18	3	10	40	8	3	10	5	7	3	4	10		
	後期	2科目型	12	6	12	2	6	16	5	—	3	3	5	2	2	10		
大学入学共通テスト 利用	前期	3教科型	35	15	26	5	15	38	12	—	10	4	15	3	4	30		
		4教科型																
	後期	3教科型	6	4	10	3	5	6	3	—	3	3	5	3	3	4		
		4教科型																

■ 2027年度 入試種別 募集人員一覧（理工系学部）

学部		理						工				建築		化学生命		情報				
学科・プログラム		理						機械工	電気電子 情報工	経営工	応用物理	建築		応用化	生命機能	計算機科	システム 数理	先端情報 領域 プログラム		
プログラム・学系		数学 コース	物理 コース	化学 コース	生物コース		地球 環境科学 コース					総合理学 コース	建築学系						都市生活学系	
区分					文系型	理系型							文系型							理系型
入学定員		275						440				200		190		200				
学科募集人員		40	40	70	70	30	25	145	145	90	60	120	80	110	80	80	80	40		
総合型選抜（総合評価型）		2	2	4	4	2	2	9	9	6	6	7	5	7	5	5	5	2		
総合型選抜（適性検査型）		3	3	5	5	2	2	10	10	6	6	8	6	8	6	6	6	3		
公募制自己推薦女子特別（工学部）		—	—	—	—	—	—	5	5	3	2	—	—	—	—	—	—			
外国高等学校在学経験者 （帰国生徒等）		若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名			
卒業生子弟・子女		若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名			
社会人		若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名			
外国人留学生		若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名			
国連UNHCR協会との協定による 難民を対象とする推薦		若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名			
給費生試験	給費生＋ 一般入試免除	6	6	9	10	3	3	25	25	12	7	15	10	15	10	12	13	5		
	給費生 （上記内数）	6						10				5		4		5				
一般入試	前期	全学統一型 ＋ 3科目型	10	10	17	15	7	6	39	39	21	14	33	24	29	22	20	21	10	
		得意科目型	3	3	8	10	2	2	5	5	3	4	—	—	7	4	8	2	2	
	後期	2科目型	2	2	2	2	2	2	4	4	3	2	4	2	3	2	2	2	2	
大学入学共通テスト 利用	前期	3教科型	3	3	5	4	2	2	12	12	10	5	19	11	10	7	7	10	4	
		4教科型																		
	後期	3教科型																		
		4教科型																		

IV 入学検定料

	入試種別	入学検定料
総合型選抜	総合型選抜（総合評価型）	35,000円
	総合型選抜（適性検査型）	
	公募制自己推薦入試	
給費生試験	給費生試験	35,000円
一般選抜	一般入試	35,000円
	大学入学共通テスト利用入試	15,000円
その他の入試	その他の入試	35,000円

※ 入学検定料のほか、一律1,100円のサービス利用料がかかります。なお、支払方法や合計金額によるサービス利用料の違いはありません。

※ 大規模災害により罹災された地域（災害救助法が適用された市町村）に受験生または保証人が居住し罹災した場合に入学検定料の免除をしています。詳細は大学公式ホームページを確認してください。

併願チャレンジ割

『総合型選抜（適性検査型）〈11/22〉』、『一般入試（前期）【全学統一型】〈2/4〉』、『大学入学共通テスト利用入試（前期・後期）』において、“2併願目が無料”、3併願目からは下記の通り割引となります。

入試種別	単願	2併願目	3併願目以降
総合型選抜（適性検査型）〈11/22〉	35,000円	0円	+ 20,000円
一般入試（前期）【全学統一型】〈2/4〉			
大学入学共通テスト利用入試（前期・後期）	15,000円	0円	+ 10,000円

※ 2回以上に分けて出願登録した場合は単願扱いとなり、併願チャレンジ割適用外となります。

※ 大学入学共通テスト利用入試（前期）と大学入学共通テスト利用入試（後期）での併願のように入試制度を超えての併願割引は適用されません。

『一般入試（前期）〈2/4・6・7・8〉』で、複数日程を出願する場合は、単願35,000円、2併願目からは20,000円（15,000円割引）となります。

入試種別	単願	2併願目	3併願目	4併願目
たとえば・・・	2/4を出願	+ 2/6を出願	+ 2/7を出願	+ 2/8を出願
一般入試（前期）	35,000円	+ 20,000円	+ 20,000円	+ 20,000円
合計 95,000円				

※ 一般入試（前期）【全学統一型】〈2/4〉の2併願目無料制度との併用可。

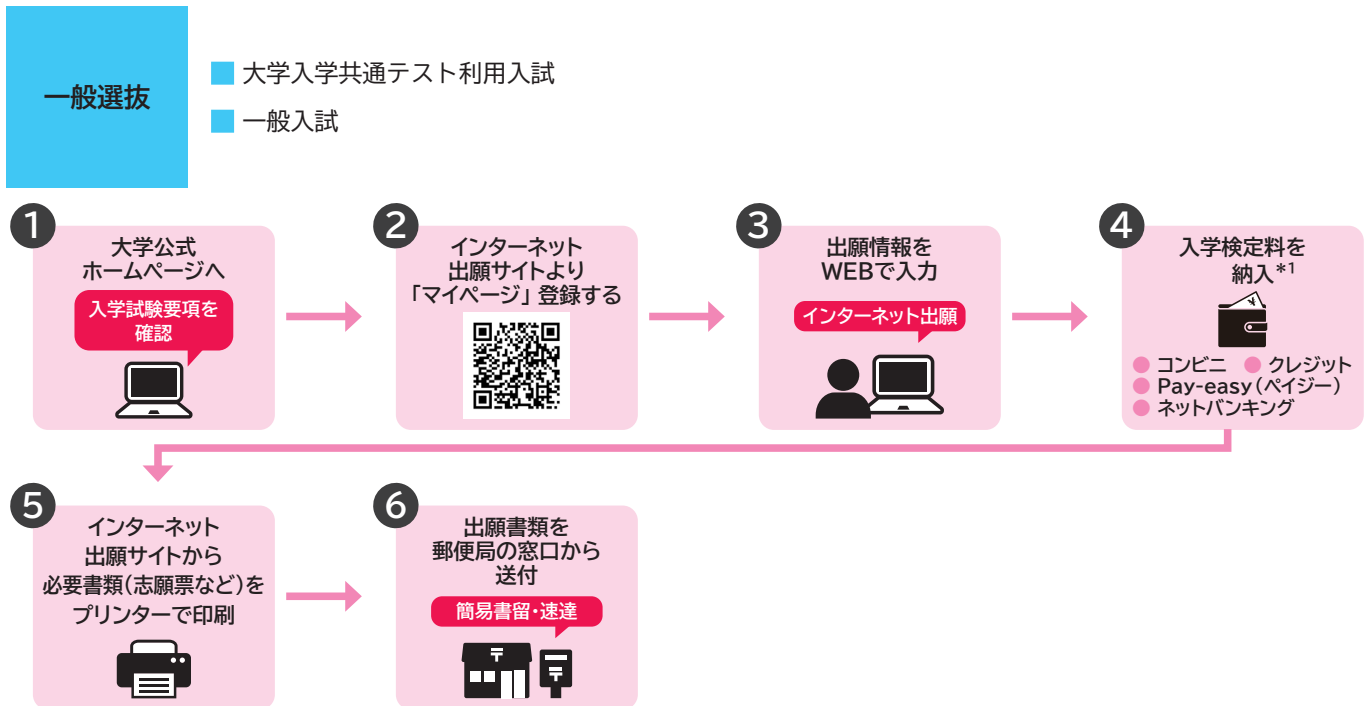
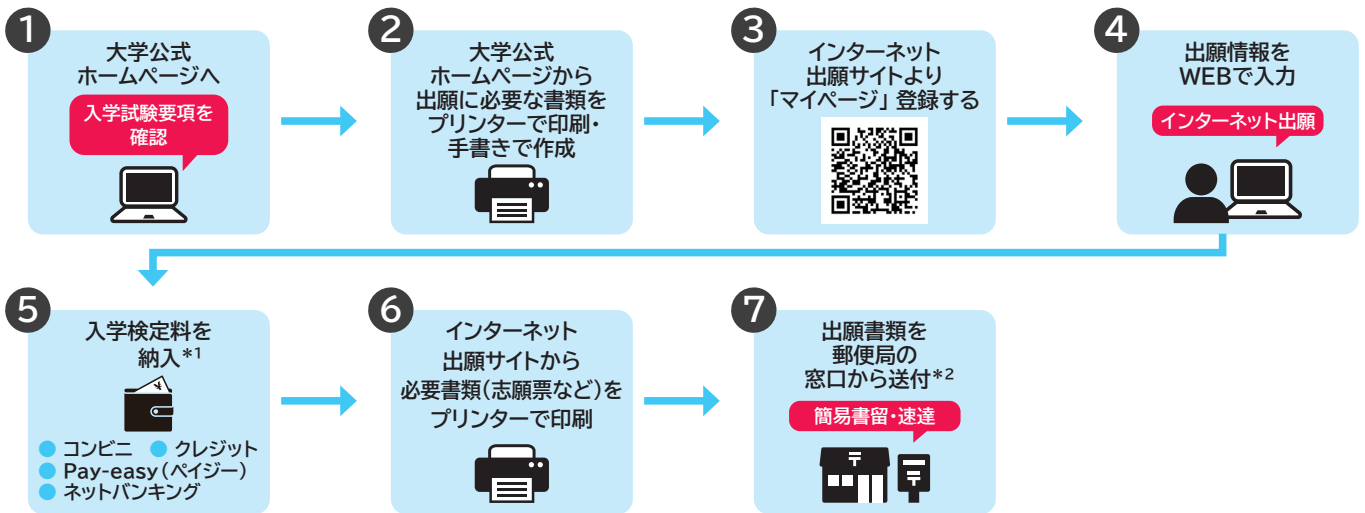
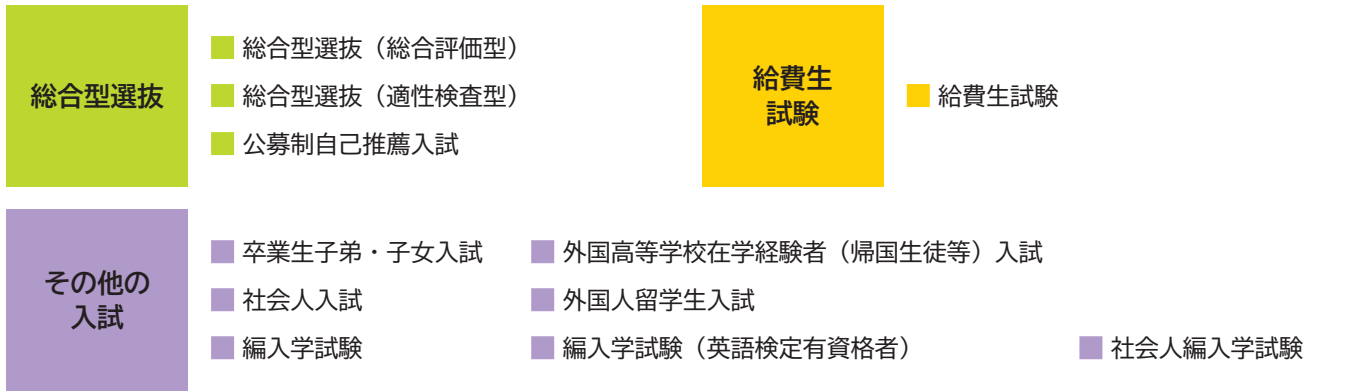
※ 2回以上に分けて出願登録した場合は単願扱いとなり、併願チャレンジ割適用外となります。

※ 給費生試験・一般入試（後期）に、併願受験はありません。

たとえば・・・ 2月の一般入試（前期）では、「同一日程併願」と「複数日程併願」の併用が可能です。

入試日程	2/4	2/6	2/7	2/8
出願学部・学科 （入学検定料）	A学部A学科 (35,000円) [同一日程2併願目] A学部B学科 (0円) [同一日程3併願目] C学部D学科 (20,000円)	[複数日程2併願目] A学部A学科 (20,000円)	[複数日程3併願目] A学部A学科 (20,000円)	[複数日程4併願目] A学部B学科 (20,000円)
入学検定料合計	55,000円	20,000円	20,000円	20,000円
合計 115,000円				

V 出願方法



*1 海外からの送金は出来ません。クレジットカード等を利用してください。
 *2 外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）入試および外国人留学生入試は出願書類の提出方法が異なります。詳細は、それぞれの「入学試験要項」をご確認ください。

VI 卒業生子弟・子女入学試験

本学専願

複数学科併願不可

神奈川大学卒業生子弟・子女については、受験生本人のみならず保護者も含め本学の建学の精神・教育理念への理解度と共感性が高く、このことは入学後の学修等を通じた成長の度合いや、大学生活における活躍の可能性にも比例することが期待されます。このような本学への帰属意識が高く意欲や熱意を持つ志願者を受け入れることにより、本学における良き伝統の継承とともに、他の学生たちの帰属意識の高揚と学生生活の活性化に大きく寄与することを期待し、これらの者に積極的に入学の機会を与えようとするものです。

入 試 日 程

学部・学科等	出願期間	試験日・試験場	合格発表日	入学手続期間
全学部全学科 <small>(外国語学部英語英文学科GECプログラムを除く)</small>	[インターネット出願・郵送受付] 9月11日(金) 午前9時 ～9月18日(金)(消印有効)	10月11日(日) 【横浜キャンパス】 法・経済・人間科・理・工・ 建築・化学生命・情報学部 【みなとみらいキャンパス】 経営・外国語・国際日本学部	11月1日(日) 午後1時	【入学手続金】 ^{※1} 〔第一次〕(入学金の納入) 11月1日(日)～11月16日(月) 〔第二次〕(学費等の納入) 11月1日(日)～1月26日(火) 【入学手続書類】(提出期間) 1月11日(月・祝)～1月26日(火)(消印有効)

※1 納入金は〔第一次〕手続期間内に一括で納入することが可能です。

* 合格者は所定の期日までに入学手続書類を送付するとともに、学費等納入金を納入し、入学手続を完了してください。

* 本入学試験に合格した場合、入学辞退はできません。

高等学校（中等教育学校および文部科学大臣認定等在外教育施設を含む、以下同じ）を2027年3月に卒業見込みの者で、次の(1)～(4)の要件をすべて満たす者。

- (1) 本学を第一志望とし、本学の建学の精神を理解し、本学での勉学を強く希望する者。
- (2) 二親等内の親族（父母・祖父母・兄弟姉妹等）が本学（短期大学・大学院含む）を卒業または修了した者。
- (3) 高等学校の第3学年1学期（または前期）までの全体の評定平均値が3.5以上の者。
- (4) 次の学部・学科・プログラムにおいては、下記の履修条件等を付す。なお、指定科目の名称がカリキュラム上異なる場合は、その旨を説明する学校長が作成した文書と、当該指定科目に「相当する科目」の資料（教育課程表・シラバス等）を、出願書類に加えて提出すること。

出 願 資 格

学部・学科	履修条件
経済学部経済データ分析学科	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A」を修得していなければならない。
理学部理学科（数学コース）	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」あるいはこれらに相当する科目を修得した者または修得見込みの者。
理学部理学科（物理コース）	「物理基礎、物理」「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」あるいはこれらに相当する科目を修得した者または修得見込みの者。
理学部理学科（化学コース）	「化学基礎、化学」「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」あるいはこれらに相当する科目を修得した者または修得見込みの者。
理学部理学科（生物コース）	「生物基礎、生物」「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」あるいはこれらに相当する科目を修得した者または修得見込みの者。
理学部理学科(地球環境科学コース)	「物理基礎、物理」「化学基礎、化学」「生物基礎、生物」「地学基礎、地学」のいずれかと「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」、あるいはこれらに相当する科目を修得した者または修得見込みの者。
理学部理学科(総合理学コース)	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」と「数学Ⅲ」「物理基礎、物理」「化学基礎、化学」「生物基礎、生物」「地学基礎、地学」のいずれか、あるいはこれらに相当する科目を修得した者または修得見込みの者。

出願資格

学部・学科	履修条件
工学部機械工学科	「物理基礎、物理」「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」を修得していなければならない。ただし、履修科目について、高等学校の工業に関する学科を卒業見込みの者についてはこの限りではない。
工学部電気電子情報工学科	『理科（「物理基礎、物理」または「化学基礎、化学」のいずれかの組み合わせ）』『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C』を修得していなければならない。ただし、履修科目について、高等学校の工業に関する学科を卒業見込みの者についてはこの限りではない。
工学部経営工学科	『理科（「物理基礎、物理」または「化学基礎、化学」のいずれかの組み合わせ）』『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C』を修得していなければならない。ただし、履修科目について、高等学校の工業に関する学科を卒業見込みの者についてはこの限りではない。
工学部応用物理学科	「物理基礎、物理」「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」を修得していなければならない。ただし、履修科目について、高等学校の工業に関する学科を卒業見込みの者についてはこの限りではない。
建築学部建築学科（建築学系）	『理科（「物理基礎、物理」または「化学基礎、化学」のいずれかの組み合わせ）』『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C』を修得していなければならない。ただし、履修科目について、高等学校の工業に関する学科を卒業見込みの者についてはこの限りではない。
化学生命学部応用化学科	「化学基礎、化学」を修得していなければならない。ただし、履修科目について、高等学校の工業に関する学科を卒業見込みの者については、「化学基礎、化学」に相当する科目を修得していなければならない。
化学生命学部生命機能学科	『理科（「生物基礎、生物」または「化学基礎、化学」のいずれかの組み合わせ）』を修得していなければならない。ただし、履修科目について、高等学校の工業に関する学科を卒業見込みの者については、「生物基礎、生物」または「化学基礎、化学」に相当する科目を修得していなければならない。
情報学部計算機科学科	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」「情報Ⅰ」を修得した者または修得見込みの者であって、「数学Ⅲ」「情報Ⅱ」を修得した、または修得見込みであることが望ましい。また、高等学校の工業、商業、情報に関する学科を卒業見込みの者で「情報Ⅰ」が教育課程にない場合は、これに相当する科目を修得した者または修得見込みの者でなければならない。情報系の勉強に意欲的でコンピュータに興味のある者が望ましい。 [注記]「情報Ⅰ」に相当する科目が履修条件を満たしているかについては、事前に本学入試センターに相談すること。
情報学部システム数理学科	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」「情報Ⅰ」を修得した者または修得見込みの者。「情報Ⅱ」を修得した、または修得見込みであることが望ましい。また、高等学校の工業、商業、情報、総合に関する学科を卒業見込みの者で「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」「情報Ⅰ」が教育課程にない場合は、これに相当する科目を修得した者または修得見込みの者でなければならない（加えて、「情報Ⅱ」に相当する科目を修得した、または修得見込みであることが望ましい）。情報系の勉強に意欲的で論理的思考に興味のある者が望ましい。 [注記]「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」「情報Ⅰ、情報Ⅱ」に相当する科目が履修条件を満たしているかについては、事前に本学入試センターに相談すること。
情報学部先端情報領域プログラム	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」「情報Ⅰ」を修得した者または修得見込みの者であって、「数学Ⅲ」「情報Ⅱ」を修得した、または修得見込みであることが望ましい。また、高等学校の工業、商業、情報に関する学科を卒業見込みの者で「情報Ⅰ」が教育課程にない場合は、これに相当する科目を修得した者または修得見込みの者でなければならない。情報系の勉強に意欲的でデジタル技術活用に興味のある者が望ましい。 [注記]「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」「情報Ⅰ」に相当する科目が履修条件を満たしているかについては、事前に本学入試センターに相談すること。

出願書類

出願書類	詳細
志願票	入学検定料納入後、インターネット出願サイトより出力
調査書（出身学校長が作成・厳封したもの） ※ 出願前3か月以内に発行されたものに限りです。	出願者が用意
志願者と本学卒業生の関係を証明する書類（戸籍抄本など） ※ 出願前3か月以内に発行されたものに限りです。	
二親等内の親族である本学卒業生の卒業証明書 または修了証明書 ※ 出願前3か月以内に発行されたものに限りです。 ※ 現在の氏名と提出する卒業証明書または修了証明書の氏名が異なる場合は、戸籍抄本（戸籍個人事項証明書）を提出してください。	
学部・学科・コース・プログラム指定の科目名称がカリキュラム上異なる場合は、「相当する科目」の資料と学校長が作成した文書（教育課程表、シラバス等）	【対象者のみ】出願者が用意
エントリーシート ①志望理由書 大学入学後に取り組みたいテーマおよび大学卒業後の職業や進路についての計画と関連づけて具体的に述べること。 ②活動報告書 高校時代に意欲的に取り組んだこと、それによって学んだことについて具体的に述べること。	本学ホームページよりダウンロード (本学所定用紙)
事前課題（経営学部のみ） 事前課題：「経営学部における学び」 あなたが神奈川大学の他の学部ではなく経営学部を選んだ理由を述べなさい。 神奈川大学経営学部で学ぶ内容が、今後のあなたの人生においてどのように活かせると考えているか、現在あなたが抱いている問題意識や、今後のあなたの目標や将来設計と結びつけて述べること。 字数：2,000字程度（1,800字～2,200字） 形式：本学所定用紙「事前課題（卒業生子弟・子女 経営学部）」をダウンロードし、消えない黒ボールペンまたは万年筆を使用して書くこと。鉛筆は不可。 パソコンの場合はA4用紙を縦置き・横書きとして使用すること（1ページ40字×30行）。 ※「事前課題」には必ず氏名を記入し、ページ番号を付けること。本文は可能な限り章立てをすること。	

試験時間

集合時間	午前 9 時 10 分
筆記試験	午前 9 時 30 分 ～ 11 時 00 分 (90分)
面接試験	午後 1 時 30 分 ～

選考方法

書類審査（出願書類）、筆記試験および面接試験の総合評価により判定します。

(1) 書類審査
(2) 筆記試験（90分）：小論文または教科、科目に係るテスト
(3) 面接試験

※試験に関する内容、評価基準、配点等については、公平な選抜試験実施のため、お答えできません。

試験科目

学部・学科 等	試験種別	試験内容	試験時間
法学部 経済学部 経営学部 外国語学部 国際日本学部 人間科学部 建築学部	小論文	日本語による ※外国語学部英語英文学科 I E S プログラムの小論文には英語の内容を含む。	90分
理学部	理学科（数学コース）	総合問題	90分
	理学科（物理コース）	総合問題	
	理学科（化学コース）	総合問題	
	理学科（生物コース）	総合問題	
	理学科（地球環境科学コース）	総合問題	
	理学科（総合理学コース）	総合問題	
工学部	機械工学科 応用物理学科	総合問題	90分
	電気電子情報工学科 経営工学科	総合問題	
	応用化学科	総合問題	
化学生命学部	生命機能学科	総合問題	90分
	生命機能学科	総合問題	
情報学部	計算機科学科	総合問題	90分
	システム数理学科		
	先端情報領域プログラム		

入学前教育課題

本学では「卒業生子弟・子女入学試験」に合格した入学予定者に対して、入学前教育課題を課します（12月下旬送付予定）。

スムーズな大学生活のスタートを切るために、必ず取り組んでください。

期限までに取り組みが見られない場合には、入学予定者への督促および高等学校への指導依頼を行います。

なお、受講料は無料ですが、学科によって書籍の購入やレポート等の郵送料が受講者負担となる場合があります。詳細は合格発表後に合格者へご案内します。

◆目的

- ①学習意欲および学習習慣の維持、大学教育への動機づけを図るため
- ②入学前に必要な基礎学力の確認および補習を行うため

出願時の注意 受験上の注意 その他

1. 受験上の注意は、P.18～19で必ず確認してください。
2. 出願書類に故意に虚偽の記入をすることや、合否照会画面、合格証などを偽造する行為を固く禁じます。そのような行為を確認した場合、警察へ被害届を提出する等の対応をとることがあります。
3. 入学後の修学キャンパスについて
【横浜キャンパス】 法学部・経済学部・人間科学部・理学部・工学部・建築学部・化学生命学部・情報学部
【みなとみらいキャンパス】 経営学部・外国語学部・国際日本学部
4. 本入学試験合格者でも給費生試験を受験することが可能です。ただし、同一の学部・学科に限り受験を認めます。
5. 本入試合格者は本学予約型奨学金の受給対象外です。受給には、事前に申請手続きを行い、採用候補者となったうえで、追加で対象となる試験（一般入試（前期）または大学入学共通テスト利用入試（前期））を受験し、合格する必要があります。ただし、同一学部・学科に限り受験を認めます。なお、合格後に、入学金等の振替手続きを必ず行ってください。
6. 本入試制度により入学を許可された者は、入学後、他の学部・学科への転部・転科を原則として認めません。詳細は本学公式ホームページ「転部・転科試験要項」を確認してください。

Ⅶ

外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）入学試験

他大学の併願可

複数学科併願不可

この試験は、何らかの事情により外国の国・地域で中等教育（高等学校での教育）を受けてきた者が、日本で一般的に行われる入学試験を受けようとする時、それまでに受けてきた教育内容および教育方法が日本のものとは異なるため、入学者選抜において不利な状況におかれていることを考慮し、一般的な入試選考とは別に設けられた入学者選抜制度です。

また、この試験では、志願者の国籍を問わず日本にある日本の高等学校に相当する外国教育施設に一定期間以上在学した者に対しても、同様に一般とは異なる選抜方法で入学の機会を提供するものです。

更に、一定程度の期間、特に初等・中等教育を外国で受けてきた者については、来日後、日本の中学校・高等学校で相当期間学んだ場合であっても、日本の一般的な入学者選抜方式では不利となることから、やはり通常とは異なる選抜方式によって入学の機会を提供するものです。

いずれも、教育制度の違いによる選抜上の不利な状況に配慮するとともに、大学入学前に経験した異文化体験を積極的に評価し、これらの人々に入学の機会を提供しようとするものです。入学者には本学で研鑽を重ね、将来、世界的視野に立った真の国際人として社会に貢献していくことを期待します。

入 試 日 程

学部・学科等	出願期間※1	試験日・試験場	合格発表日	入学手続期間
全学部全学科 <small>(外国語学部英漢文専攻GECプログラムを除く)</small>	[インターネット出願・郵送必着または窓口受付] 10月1日(木) 午前9時 ~10月8日(木)(郵送必着)	11月1日(日) 横浜キャンパス	11月6日(金) 午後1時	【入学手続金】※2 [第一次] (入学金の納入) 11月6日(金)~11月20日(金) [第二次] (学費等の納入) 11月6日(金)~1月26日(火) 【入学手続書類】(提出期間) 1月11日(月・祝)~1月26日(火)(消印有効)

※1 窓口の受付時間は9:00~16:00までです(土・日・祝日を除く)。郵送の場合は10月8日(木)必着です。出願期間内に書類を提出できない場合は、出願を受け付けることができません。

※2 納入金は【第一次】手続期間内に一括で納入することが可能です。

* 合格者は所定の期日までに入学手続書類を送付するとともに、学費等納入金を納入し、入学手続を完了してください。定められた期日までに入学手続が行われない場合は、入学の権利が取り消されます。

* 本入学試験に合格した者が、入学手続完了後に入学辞退する場合は、2027年3月31日(水)13:00までに所定の手続を完了することにより、入学金を除く学費を返還(2027年4月下旬返還予定)します。

出 願 資 格

次の資格A、資格Bまたは資格Cの要件のいずれかを満たす者で、2027年4月1日までに18歳に達する者。

(1) 資格A (日本国籍を有する者)

原則として日本国籍を有し、次の①~⑤の要件のいずれかを満たす者で、外国において、外国の教育課程に基づく中等教育機関(高等学校)に2学年以上継続して就学した者。

①外国において、外国の学校教育制度に基づく中等教育機関(高等学校)に在籍し(帰国後日本の高等学校に編入学した者も含む)、学校教育における12年の課程を修了した者または2027年3月31日までに修了見込みの者(高等学校卒業までに少なくとも12年の学校教育課程を基本とする国で、「飛び級」または「繰り上げ卒業」により通算教育年数が12年に満たずに卒業した者を含む)。

②スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者。

③ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者。

④フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者。

⑤高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定を含む)に合格した者または2027年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、2027年4月1日までに18歳に達する者。

(2) 資格B (受験生の国籍は問わない)

日本の高等学校の課程に相当する在日の外国教育施設に2学年以上就学し、学校教育における12年の課程を修了した者。または2027年3月31日までに修了見込みの者。

出願資格

※資格Bの「日本の高等学校の課程に相当する在日の外国教育施設」は文部科学省の指定した施設とします。それに該当しない施設においては、個別の入学資格審査により事前審査を行います。該当者は「神奈川大学入学資格審査要項」に記載の期日までに本学入試センターに問い合わせてください。

(3) 資格C（受験生の国籍は問わない）

資格Aに該当する者を除き、外国および日本において12年以上の課程に通算して就学し、卒業した者または2027年3月31日までに卒業見込みの者で、外国において、外国の学校教育制度の教育課程に基づく教育機関に2学年以上継続して就学した者。ただし、日本の中学校・高等学校に通算して6年以上在学し、卒業した者を除く。

資格A

日本国籍を有す。主に帰国生徒。



資格B

国籍は問わない。在日外国教育施設に在籍している方。



資格C

国籍は問わない。外国の教育機関に在籍経験のある方。（資格Aを除く）



出願書類

出願書類	詳細
志願票	入学検定料納入後、インターネット出願サイトより出力
最終出身学校（高等学校）の証明書 以下、いずれかの組み合わせ ・「調査書」（出身学校長が作成・厳封したもの） ・「卒業（見込）証明書」と「成績証明書」 ・「修了（見込）証明書」と「成績証明書」 ※ 卒業見込者は出願前3か月以内に発行されたものに限りです。 ※ 調査書が発行される場合は、調査書を優先して提出してください。 ※ 成績証明書は、卒業者は高等学校3学年分、卒業見込者は1学年から直近の成績までが記載されているものを提出してください。	出願者が用意
出願資格に該当する外国教育施設もしくは在日の外国高等学校に就学した期間の証明書 ・「在籍期間証明書」と「成績証明書」 ※ 日本の高等学校に在学したことがある者は、調査書またはその在学期間中の在籍期間証明書および成績証明書を併せて提出してください。 ※ 卒業見込者は出願前3か月以内に発行されたものに限りです。	
出願資格 資格A - ⑤で出願する者は、 「合格（見込）成績証明書」	
資格Aまたは資格Cの対象者で、出願資格に該当する外国の教育機関に2学年以上継続して就学し、出願資格を得た者は、当該教育機関の学校案内やホームページの印刷等（カリキュラム等教育機関の詳細がわかるもの）（コピー可）	
住民票の写し（原本） ※ 日本国籍を有しない方のみ。「国籍」「在留の資格」「在留期間」および「在留カード番号」が記載されているもの。 ※ 出願前3か月以内に発行されたものに限りです。	本学ホームページよりダウンロード （本学所定用紙）
入学願書①・②	
自己推薦書 自らの経験と学んだこと、特にアピールしたいことなどについて記載したもの	

※1 提出書類が日本語または英語以外の場合は、日本語訳を必ず添付すること（様式任意、ただし、翻訳者の署名を必ずつけること。本人翻訳可）。

※2 「飛び級」または「繰り上げ卒業」した者で、その理由などが成績証明書または卒業（見込）証明書に記載されていない場合には、別途出身学校発行の書類を提出すること。

試験時間	集合時間	午前 9 時 10 分
	筆記試験	午前 9 時 30 分 ~ 11 時 00 分 (90分)
	面接試験	午後 1 時 30 分 ~
選考方法	書類審査（出願資格含む）、筆記試験および面接試験の総合評価により判定します。	
	(1) 書類審査（出願資格含む）	
	(2) 筆記試験（90分）	
	(3) 面接試験	
※試験に関する内容、評価基準、配点等については、公平な選抜試験実施のため、お答えできません。		

試験科目

学部・学科等	試験種別	試験内容	試験時間
法学部 経済学部 経営学部 国際日本学部	小論文	日本語による	90分
外国語学部 人間科学部	小論文	日本語による	90分
	外国語	英語	
理学部 工学部 建築学部建築学科（建築学系） 化学生命学部 情報学部	小論文	日本語による	90分
	総合問題	数学・理科等に関する問題	
建築学部建築学科（都市生活学系）	小論文	日本語による	90分

入学前教育課題

本学では「外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）入学試験」に合格した入学予定者に対して、入学前教育課題を課します（12月下旬送付予定）。

スムーズな大学生活のスタートを切るために、必ず取り組んでください。

期限までに取り組みが見られない場合には、入学予定者への督促および高等学校への指導依頼を行います。

なお、受講料は無料ですが、学科によって書籍の購入やレポート等の郵送料が受講者負担となる場合があります。詳細は合格発表後に合格者へご案内します。

◆目的

- ①学習意欲および学習習慣の維持、大学教育への動機づけを図るため
- ②入学前に必要な基礎学力の確認および補習を行うため

出願時の注意 受験上の注意 その他

1. 出願の際は、以下のいずれかの方法で出願してください。
 - ・郵送（必着）（簡易書留・速達）
 - ・窓口受付（横浜キャンパス入試センター窓口 出願書類を持参）
窓口受付時間 9:00～16:00（土・日・祝日は除く）

（注意）

 1. 受理した書類は返還いたしません。
 2. 出願後の学部・学科等の変更は認めません。
 3. 出願書類に不備があった場合、出願が認められないことがあります。
 4. 書類確認後、追加書類を提出いただくことがありますので、余裕をもって出願してください。
2. 受験上の注意は、P.18～19で必ず確認してください。
3. 出願書類に故意に虚偽の記入をすることや、合否照会画面、合格証などを偽造する行為を固く禁じます。そのような行為を確認した場合、警察へ被害届を提出する等の対応をとることがあります。
4. 入学後の修学キャンパスについて

【横浜キャンパス】 法学部・経済学部・人間科学部・理学部・工学部・建築学部・化学生命学部・情報学部

【みなとみらいキャンパス】 経営学部・外国語学部・国際日本学部
5. 本入試制度により入学を許可された者は、入学後、他の学部・学科への転部・転科を原則として認めません。詳細は本学公式ホームページ「転部・転科試験要項」を確認してください。

VIII

社会人入学試験

他大学との併願可

複数学科併願不可

この試験は、勉学への熱意と能力を持つ社会人に大学の門戸を開放し、大学教育を受ける機会を保障する入試制度です。社会における多様な活動を通じて得られた経験を生かして他の学生に刺激を与えるとともに、社会では体験できなかった知的刺激を大学や他の学生から受けることによって自身の成長を促し、さらには再度社会に貢献していくことを期待するものです。

入 試 日 程

学部・学科等	出願期間	試験日・試験場	合格発表日	入学手続期間
全学部全学科 (外国語学部英語英文学科GECプログラムを除く)	[インターネット出願・郵送受付] 10月1日(木) 午前9時 ～10月8日(木)(消印有効)	11月1日(日) 横浜キャンパス	11月6日(金) 午後1時	【入学手続金】※1 【第一次】(入学金の納入) 11月6日(金)～11月20日(金) 【第二次】(学費等の納入) 11月6日(金)～1月26日(火) 【入学手続書類】(提出期間) 1月11日(月・祝)～1月26日(火)(消印有効)

※1 納入金は【第一次】手続期間内に一括で納入することが可能です。

* 合格者は所定の期日までに入学手続書類を送付するとともに、学費等納入金を納入し、入学手続を完了してください。定められた期日までに入学手続が行われない場合は、入学の権利が取り消されます。

* 本入学試験に合格した者が、入学手続完了後に入学辞退する場合は、2027年3月31日(水) 13:00までに所定の手続を完了することにより、入学金を除く学費を返還(2027年4月下旬返還予定)します。

出 願 資 格

次の(1)～(6)の要件のいずれかを満たし、かつこれまでの社会的活動(家庭、地域、職場、社会一般などにおける諸活動)を通じて、本学における勉学に強い意欲を持つに至った者で2027年4月1日現在満23歳以上の者。なお、経済学部経済データ分析学科、理学部、工学部、化学生命学部および情報学部では、(7)に規定する履修条件も満たす者。

- (1) 高等学校(中等教育学校および文部科学大臣認定等在外教育施設を含む、以下同じ)を卒業した者または2027年3月卒業見込みの者。
- (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、2027年3月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- (3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または2027年3月修了見込みの者。
- (4) 文部科学大臣の指定した者。
- (5) 高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定試験を含む)に合格した者または2027年3月31日までに合格見込みの者。
- (6) 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

出願資格(6)により出願を希望する者は、事前に個別の入学資格審査を実施します。

該当者は「神奈川大学入学資格審査要項」に記載の期日までに本学入試センターまでお問い合わせください。

(7) 次の学部・学科・プログラムにおいては、下記の履修条件等を付す。なお、指定科目の名称がカリキュラム上異なる場合は、その旨を説明する学校長が作成した文書と、当該指定科目に「相当する科目」の資料（教育課程表・シラバス等）を、出願書類に加えて提出すること。

学部・学科	履修条件
経済学部経済データ分析学科	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A」を修得していなければならない。
理学部理学科（数学コース）	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」あるいはこれらに相当する科目を修得した者または修得見込みの者。
理学部理学科（物理コース）	「物理基礎、物理」「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」あるいはこれらに相当する科目を修得した者または修得見込みの者。
理学部理学科（化学コース）	「化学基礎、化学」「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」あるいはこれらに相当する科目を修得した者または修得見込みの者。
理学部理学科（生物コース）	「生物基礎、生物」「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」あるいはこれらに相当する科目を修得した者または修得見込みの者。
理学部理学科(地球環境科学コース)	「物理基礎、物理」「化学基礎、化学」「生物基礎、生物」「地学基礎、地学」のいずれかと「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」、あるいはこれらに相当する科目を修得した者または修得見込みの者。
理学部理学科（総合理学コース）	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」と「数学Ⅲ」「物理基礎、物理」「化学基礎、化学」「生物基礎、生物」「地学基礎、地学」のいずれか、あるいはこれらに相当する科目を修得した者または修得見込みの者。
工学部全学科	「物理基礎、物理」「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」（もしくはこれに相当する内容）を修得していなければならない。ただし、履修科目について、高等学校の工業に関する学科を卒業した者または卒業見込みの者についてはこの限りではない。
化学生命学部応用化学科	「化学基礎、化学」（もしくはこれに相当する内容）を修得していなければならない。
化学生命学部生命機能学科	「生物基礎、生物」または「化学基礎、化学」のいずれかの組み合わせ（もしくはこれに相当する内容）を修得していなければならない。
情報学部計算機科学科	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」（もしくはこれに相当する内容）を修得した者または修得見込みの者。また、「数学Ⅲ」を修得していることが望ましい。
情報学部システム数理学科	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」（もしくはこれに相当する内容）を修得した者または修得見込みの者。また、高等学校の工業、商業、総合に関する学科を卒業見込みの者で「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」が教育課程にない場合は、これに相当する科目を修得した者または修得見込みの者でなければならない。 [注記]「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」に相当する科目が出願資格を満たしているかについては事前に本学入試センターに相談すること。
情報学部先端情報領域プログラム	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」（もしくはこれに相当する内容）を修得した者または修得見込みの者。また、「数学Ⅲ」を修得していることが望ましい。

出 願 資 格

	出願書類	詳細
出 願 書 類	志願票	入学検定料納入後、インターネット出願サイトより出力
	出願資格（1）（3）は、a～cのうちいずれか a. 「調査書」（出身学校長が作成・厳封したもの） b. 「卒業（見込）証明書」と「成績証明書」 c. 「修了（見込）証明書」と「成績証明書」 出願資格（2）（4）は、aまたはbのうちいずれか a. 「修了（見込）証明書」と「成績証明書」 b. 「資格証書（複写したもの）」 出願資格（5）は、「合格（見込）成績証明書」 ※ 調査書および各種証明書類は、出願以前3か月以内に発行したものに限り、 たゞし、既卒者については2026年4月1日以降に発行したものとします。	出願者が用意
	入学願書・履歴書【様式1】	
	志望理由書【様式2】	
	推薦書【様式3】 志願者がこれまでに携わってきた社会的活動をよく知る人に、その活動内容と状況、推薦理由を記載してもらうこと。	本学ホームページよりダウンロード （本学所定用紙）
	在職証明書【様式4】 就業経験がある場合は、出願の時点で1年以上在職している、または在職していたことを証明する本証明書をもって「推薦書【様式3】」に代えることができる。	
	学部・学科・コース・プログラム指定の科目名称がカリキュラム上異なる場合は、「相当する科目」の資料と学校長が作成した文書（教育課程表、シラバス等）	【対象者のみ】出願者が用意
試 験 時 間	集合時間 午前 9 時 10 分 筆記試験 午前 9 時 30 分 ～ 10 時 30 分（60分） 面接試験 午後 1 時 30 分 ～	
選 考 方 法	書類審査（出願書類）、筆記試験（小論文）および面接試験の総合評価により判定します。 （1）書類審査（出願書類） （2）筆記試験（小論文）（60分） ※外国語学部英語英文学科（IESプログラム）の小論文には英語の内容を含む。 （3）面接試験 ※試験に関する内容、評価基準、配点等については、公平な選抜試験実施のため、お答えできません。	
入学前教育課題	本学では「社会人入学試験」に合格した入学予定者に対して、入学前教育課題を課します（12月下旬送付予定）。 スムーズな大学生活のスタートを切るために、必ず取り組んでください。 期限までに取り組みが見られない場合には、入学予定者への督促を行います。 なお、受講料は無料ですが、学科によって書籍の購入やレポート等の郵送料が受講者負担となる場合があります。詳細は合格発表後に合格者へご案内します。 ◆目的 ①学習意欲および学習習慣の維持、大学教育への動機づけを図るため ②入学前に必要な基礎学力の確認および補習を行うため	

出願時の注意
受験上の注意
その他

1. 受験上の注意は、P.18～19で必ず確認してください。
2. 出願書類に故意に虚偽の記入をすることや、合否照会画面、合格証などを偽造する行為を固く禁じます。そのような行為を確認した場合、警察へ被害届を提出する等の対応をとることがあります。
3. 入学後の修学キャンパスについて
【横浜キャンパス】 法学部・経済学部・人間科学部・理学部・工学部・建築学部・
 化学生命学部・情報学部
【みなとみらいキャンパス】 経営学部・外国語学部・国際日本学部
4. 本入学試験合格者でも給費生試験を受験することが可能です。
5. 本入試制度により入学を許可された者は、入学後、他の学部・学科への転部・転科を原則として認めません。詳細は本学公式ホームページ「転部・転科試験要項」を確認してください。

長期履修学生制度（法学部・経済学部・人間科学部対象）

「長期履修学生制度」とは、通常の修業年限を超えて履修を行い、所定の単位修得等の要件を満たして修了することにより、学位取得を可能とする制度です。社会人入学試験により入学した学生で、通常の修業年限（4年）を超えて一定の期間（6年）にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望し、入学手続き時に申請した者が、この対象となります。

長期履修学生制度許可学生に対する学費（法学部・経済学部・人間科学部対象） ※2027年度対象者

■法学部／経済学部

（単位：円）

年次	入学金	(分納) 第1分納期						小計	(分納) 第2分納期		小計	(全納) 年額
		学費		委託徴収金					学費			
		授業料	施設設備資金	学会費	宮陵会年会費	後援会費	学生教育研究 災害傷害保険		授業料	施設設備資金		
1	200,000	244,600	100,000	2,500	10,000	10,000	4,700	571,800	244,600	100,000	344,600	916,400
2	—	244,600	100,000	2,500	5,000	10,000	—	362,100	244,600	100,000	344,600	706,700
3	—	244,600	100,000	2,500	5,000	10,000	—	362,100	244,600	100,000	344,600	706,700
4	—	244,600	100,000	2,500	5,000	10,000	—	362,100	244,600	100,000	344,600	706,700
5	—	244,800	100,000	—	—	—	—	344,800	244,800	100,000	344,800	689,600
6	—	244,800	100,000	—	—	—	—	344,800	244,800	100,000	344,800	689,600

■人間科学部

（単位：円）

年次	入学金	(分納) 第1分納期						小計	(分納) 第2分納期		小計	(全納) 年額
		学費		委託徴収金					学費			
		授業料	施設設備資金	学会費	宮陵会年会費	後援会費	学生教育研究 災害傷害保険		授業料	施設設備資金		
1	200,000	283,300	100,000	3,000	10,000	10,000	4,700	611,000	283,300	100,000	383,300	994,300
2	—	283,300	100,000	3,000	5,000	10,000	—	401,300	283,300	100,000	383,300	784,600
3	—	283,300	100,000	3,000	5,000	10,000	—	401,300	283,300	100,000	383,300	784,600
4	—	283,300	100,000	3,000	5,000	10,000	—	401,300	283,300	100,000	383,300	784,600
5	—	283,400	100,000	—	—	—	—	383,400	283,400	100,000	383,400	766,800
6	—	283,400	100,000	—	—	—	—	383,400	283,400	100,000	383,400	766,800

※委託徴収金は2026年度参考です。

IX 受験上の注意

持参品について

【持参品（試験時間中に使用を認めるもの）】	
□受験票	当日、受験票を忘れた場合は、試験実施本部で再発行手続きをしてください。
□筆記用具	「H、F、HB」の黒鉛筆（鉛筆キャップ含む）、またはシャープペンシル（黒い芯に限る。替え芯とそのケースは不可）／プラスチック製の消しゴム／鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可） 和歌・格言等が印刷されているものは不可。
□時計	辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可。 ※試験場内に時計はありません。また、貸出しも行いません。
□その他	眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）
【試験時間中に使用を認めないもの】	
□携帯電話等 通信機器	携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等電子機器類の試験時間中の使用は認めません。アラーム設定を解除したうえで、電源を切ってカバン等にしまってください。 また、時計として使用することもできません。試験時間中に携帯電話等を手にしたり、身につけていた場合は、不正行為として扱われますので、十分に注意してください。
□耳栓	監督者の指示等が聞き取れないことがあるため、使用できません。
□電卓	使用できません。
□定規	使用できません。
□コンパス	使用できません。
□その他	英文字、和歌、格言、地図など、試験に関わる内容がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。

※昼食は持参してください。

※上履き、スリッパなど履物を持参する必要はありません。

受験票について

- 出願** 受験票は『インターネット出願サイト』マイページメニューの「オンライン受験票」より出力してください（試験日の3日前までに確認可能となります。確認可能となり次第、メールで通知します。試験日3日前までに確認できない場合は本学入試センターまでお問い合わせください）。
- ↓
- 受験票に表示されている内容を確認し、誤り等がないか確認してください。
- 受験** 試験当日は受験票を必ず持参してください。当日忘れた場合は、試験実施本部で再発行手続きをしてください。
※大学入学共通テスト利用入試では、受験票を発行しません。マイページメニューの「STEP4 出願確認」より出願状況を確認してください。

試験場への入場・遅刻について

- 入場** (1) 試験当日、キャンパス内に掲示する試験場案内で、自分の試験場を確認してください。
(2) 受験生は試験開始20分前までに試験場に入室し、自分の着席カード（受験番号が印字されているカード）が貼られている席に着席してください。
- 遅刻** (1) 試験開始後30分を過ぎた場合は原則として受験を認めません。
(2) 公共交通機関の乱れや遅れが生じ、遅刻しそうな時は、試験実施本部（045-481-5661）まで連絡してください。

試験時間中について

- (1) 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。従わない場合は退出させることがあります。
(2) 受験票は、机上の着席カード（受験番号が印字されているカード）の手前に置いてください（受験票の注意事項をよく読んでください）。
(3) 試験に関係のないものはカバン等にしまい、自分の座席の下に置いてください。

- (4) 試験開始後、監督者が写真照合のために巡回します。マスクや眼鏡、帽子等を着用していて、照合が困難な場合は一時的に外すよう指示することがあります。
- (5) サポーター、テーピング、包帯、湿布、ギブス、眼帯、コルセットを着用したまま受験することはできますが、試験時間中に着脱する場合は、監督者に申し出て許可を得てください。また、座布団、クッション、タオル、ひざ掛け、手袋（多汗症用を含む）の使用を希望する場合は、試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください（受験上の配慮を申請し、これらの使用について許可されている場合を除く）。
- (6) 試験時間中に具合が悪くなった場合や、それ以外で用事のあるときは、静かに手をあげて監督者に知らせてください。
- (7) 解答用紙が無記名だった場合、不正行為があった場合は、合否判定の対象とはなりません。

不正行為について

- (1) 次のことをすると不正行為となります。指示等に従わず不正行為と認定された場合、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての教科・科目の成績は無効となります。なお、その場合、入学検定料は返還されません。また、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。
 - ・ 志願票などの出願書類、受験票、解答用紙に故意に虚偽の記入（出願時に本人以外の写真を登録することや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど）をすること。
 - ・ なりすましや替え玉受験に該当する行為をすること。
 - ・ カンニング（カンニングペーパー、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、ほかの受験者の答案等を見ること、ほかの人から答えを教わることなど）をすること。
 - ・ ほかの受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
 - ・ 試験時間中に試験問題や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ・ 解答開始の合図や指示の前に、試験問題を開いたり、解答を始めること。
 - ・ 試験時間中に、定規、コンパス、電卓等の補助具を使用すること。
 - ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
※イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとします。受験上の配慮が必要な場合はP.22を確認してください。
 - ・ 解答終了の合図や指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。
- (2) 前記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、前記(1)と同様です。
 - ・ 試験時間中に、携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ・ 試験に関することについて、自身やほかの受験者が有利になるような虚偽の申し出をすること。
 - ・ 試験場においてほかの受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ・ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
 - ・ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

退場について

- (1) 原則として試験終了まで退場できません。途中退出した場合は合否判定の対象とはなりません。英語外部試験の利用を申請している場合は、当日「英語」の受験有無を選択できます。退場については、監督者の指示に従ってください。
- (2) 筆記試験終了後は、監督者の指示があるまで試験場から退出しないでください。
- (3) 筆記試験終了後、試験問題の取り扱いは監督者の指示に従ってください。なお、解答用紙は一切持ち帰ることができません。また、面接試験がある場合は、面接試験終了次第、解散となります。
- (4) 試験当日、大学周辺、または駅周辺での様々な勧誘は本学と一切関係ありません。住所や電話番号などの個人情報情報を安易に提供することがないように十分に注意してください。

X 学 費

学 費 (2027年度入学者)

年次	内 訳	法学部 経済学部	経営学部 ^{※1} 外国語学部 ^{※1} 国際日本学部 人間科学部	理学部 工学部 化学生命学部 ^{※2} 情報学部 ^{※2}	建築学部	
1年次	入 学 金	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円	
	学 費	授 業 料	734,000円	850,000円	1,120,000円	1,120,000円
		施設設備資金	300,000円	300,000円	400,000円	400,000円
		学 会 費	2,500円	3,000円	—	3,000円
	委 託 徴収金	宮陵会準会員費	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円
		後援会費	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円
		学生教育研究災害傷害保険	3,300円	3,300円	3,300円	3,300円
初年度合計金額		1,259,800円	1,376,300円	1,743,300円	1,746,300円	
分 納	入学金＋第1分納期 納入期限：入試種別により異なります	742,800円	801,300円	983,300円	986,300円	
	第2分納期 納入期限：10月末	517,000円	575,000円	760,000円	760,000円	
2年次	学費・委託徴収金	1,051,500円	1,168,000円	1,535,000円	1,538,000円	
3年次	学費・委託徴収金	1,051,500円	1,168,000円	1,535,000円	1,538,000円	
4年次	学費・委託徴収金	1,051,500円	1,168,000円	1,535,000円	1,538,000円	

※1 外国語学部英語英文学科（GECプログラム）（2年次前学期に1学期間の留学が必須）および経営学部「中長期留学プログラム」、外国語学部スペイン語学科「スペイン語圏留学プログラム」の適用者については、留学先の授業料、その他、留学にかかる費用はすべて本人負担となり、行き先・時期・期間・レート等により変動します。なお、留学中（半期分）の本学授業料および施設設備資金は徴収致しません。ただし、留学在籍料5万円および委託徴収金を徴収します。詳細は決定次第、大学公式ホームページなどでお知らせします。

※2 情報学部計算機科学科および先端情報領域プログラムでは、指定スペックでの自費購入によるPCが必須です。入学までに各自で準備しておいてください。PCのスペックについては、別途、大学公式ホームページなどでお知らせします。

[注 意]

- 委託徴収金は、2026年度参考額です。学費及び納入期日については変更になることがあります。変更がある場合は大学公式ホームページなどでお知らせします。
- 学費の分納を希望する場合は、第1分納期分（入学金を除く）を入学手続き時に（※期日は入試種別によって異なります）、第2分納期分は入学後2027年10月末までに納入してください。2年次以降の納入期日については、入学後にご案内します。
- 高等教育における修学支援新制度（授業料等減免）に採用が決定している場合でも、入学手続き時には上記掲載の正規入学金・学費等を納入する必要があります。その場合、入学後に減免額を返金します。
- 学会（法学会、経済学会、国際経営学会、人文学会、建築学会）への入会は、会費納入と同時に手続きを完了したものとし、会員として取り扱います。各学会は会費によって運営され、「論文集・年報の発行、ゼミ活動支援、講演会の開催等」の事業を行っています。
- 宮陵会は、卒業生等を会員とする任意の団体です。入会は、会費納入と同時に手続きを完了したものとし、準会員として取り扱います。2年次以降は卒業まで年額5,000円を納入することで正会員となります。
- 後援会は、在学生の保護者等を会員とする任意の団体です。入会は、会費納入と同時に手続きを完了したものとして取り扱います。会費は、卒業まで年額10,000円です。
- 本学に在学しているすべての学生は、日本国際教育支援協会の学生教育研究災害傷害保険に加入することが義務づけられています。初年度のみ納入で、在学中の教育研究活動中等に被った災害・傷害に対して保険金が交付されます。
- 教職課程等、資格教育課程の履修者は、登録費等の納入が別途必要です。
- 学外実習を行う科目では、実習費用（交通費、滞在費、諸経費等）が別途必要です。詳細は、修学キャンパス教務課にて確認してください。

◆国の教育ローン

	限度額(万円)	対象範囲		利率(固定)	ローン審査に要する期間	取扱店
	保護者等	入学時	在学中			
日本政策金融公庫	350	納付金、受験費用、入学時に必要な費用	納付金、住居費用、通学費用等	日本政策金融公庫ホームページでご確認ください。	2～3週間程度	日本政策金融公庫 各支店

※詳細については、金融機関に直接お問い合わせください。

XI 奨学金

各種奨学金の詳細やその他の奨学金はこちらからご確認ください。



※すべての奨学金には出願・選考が伴います。また、奨学金制度の内容は変更になることがあります。

名称	種類	金額	対象
伝統ある給費生制度 給費生試験の成績によって奨学生としての採用を決める 本学独自の奨学金制度です。 2026年12月20日（日）に「全国22会場」で給費生試験を実施し、 給費生に選ばれたら右記の奨学金が原則4年間給付されます。 卒業後の返還の義務もありません。 （出願基準に世帯収入や成績条件はありません。）	給付	■ 入学金相当額（20万円）給付 ■ 法・経済学部 : 年額 105万円 ■ 経営・外国語・国際日本・人間科学部 : 年額 115万円 ■ 理・工・建築・化学生命・情報学部 : 年額 155万円 ↓ 原則として4年間給付 *毎年継続審査あり さらに 自宅外通学者には 年間70万円の生活補助金を給付	給費生試験で給費生に合格した者
入学前に採用候補者が決定 高校を卒業見込みで、高校の成績及び収入が一定の基準を満たす学生を支援します。 ▶成績基準：評定平均4.0以上 ▶家計基準：主たる家計支持者及び従たる家計支持者（原則父母）の収入合計が700万円以下		自宅所在地が 神奈川県・東京都の学生 ■ 文系学部：年額 20万円 ■ 理工系学部：年額 30万円 神奈川県・東京都以外の学生 ■ 文系学部：年額 40万円 ■ 理工系学部：年額 50万円 原則として4年間給付 *毎年継続審査あり	一般入試(前期)、大学入学共通テスト利用入試(前期)に出願予定の受験生
1年次の経済的負担を軽減 高校の成績が一定の基準を満たし、かつ経済的理由により修学が困難な新入生を支援します。 ▶成績基準：評定平均3.5以上 ▶家計基準：主たる家計支持者および従たる家計支持者（原則父母）の収入合計が700万円以下		▶ 文系学部：20万円 ▶ 理工系学部：30万円 （新制度の第IV区分（理工系）の対象者は10万円）	1年次
自宅外通学をサポート 高校の成績が一定の基準を満たし、神奈川・東京（伊豆・小笠原諸島を除く）を除く地方出身者で、自宅外通学の学生を支援します。 ▶成績基準：評定平均3.5以上 ▶家計基準：主たる家計支持者および従たる家計支持者（原則父母）の収入合計が700万円以下		20万円	
2年次以降の経済的負担を軽減 経済的理由により修学が困難で、一定の学業成績を満たし、学業成績、人物ともに優秀な学生を支援します。 ▶成績基準：通算標準修得単位数以上・GPA 2.5以上（前年度） ▶家計基準：主たる家計支持者および従たる家計支持者（原則父母）の収入合計が700万円以下		▶ 文系学部：20万円 ▶ 理工系学部：30万円 （新制度の第IV区分（理工系）の対象者は10万円）	2～4年次
海外留学資金をサポート 短期海外研修や交換留学などに参加する学生を支援します。 （一部成績基準あり）		短期 : 5万円 長期(派遣) : 月額8～12万円	
資格取得に取り組む人に 司法試験や公認会計士、税理士、国家公務員採用総合職試験など、難易度の高い資格試験合格やTOEIC®での高得点取得などに挑戦し、実績を上げた学生を支援します。		資格・進路による 10～30万円	全年次
目標に挑戦する志を応援 将来における明確な目標を持ち、学業成績、人物ともに優れ、かつ、学術研究分野において優れた実績を上げた学生を支援します。		活動実績による 2万円～	
外国人留学生に学びの機会を 学業成績・人物ともに優秀で一定の学業成績を満たし、経済的理由により修学が困難な私費外国人留学生の授業料を減免します。 ▶成績基準：通算標準修得単位数以上・GPA 2.5以上（前年度） *1年次生は成績基準なし、収入要件あり		▶ 文系学部：20万円 ▶ 理工系学部：30万円	私費外国人留学生
神大から神大の大学院に進む人へ 神奈川大学を卒業し、本学大学院に進学することを早期から希望する学生で、学業成績、人物ともに優秀な学生を支援します。		▶ 理工系研究科：22万円 ▶ その他の研究科：15万円	本学学部生（卒業予定者）
学業において優秀な成績を修めた学生を支援 「神奈川大学学業成績優秀者表彰制度」により、各学部学科において成績優秀者として表彰された学生を支援します。	■ 最優秀者：40万円 ■ 優秀者：20万円	全年次	
「報恩、感謝、功德」の精神を次代へ 本学卒業生・村橋三好氏の篤志から生まれた奨学金制度です。 氏の精神「報恩、感謝、功德」を理解し、その想いを引き継ぐ学生を支援します。	▶ 文系学部：50万円 ▶ 理工系学部：60万円	1・2年次	
多様な学習環境において修学及び学生生活に励む学生を支援 成績・人物ともに優秀な学生、経済的理由による修学困難な学生(*）、課外活動などで活躍する学生も対象にした奨学金制度です。	10万円	全年次	
在学生の保護者中心の団体（後援会）も学生をサポート 成績・人物ともに優秀で経済的理由により学費の支弁が困難な学生を支援します。	20万円	全年次	
家計が急変した学生を支援 学業・人物が優秀で勉学意欲を持ちながら、家計が急変（家計支持者の死亡など）のために、学業の継続が困難になった学生を支援します。	25万円	原則として学部4年次	

*国による高等教育の修学支援新制度（日本学生支援機構給付奨学金・授業料等減免）との併給不可（ただし、第IV区分（理工系）の対象者を除く）
 ※神奈川大学後援会給付奨学金と神奈川大学激励奨学金（経済的理由による修学困難な学生）は、第IV区分（理工系）も併給不可となります。

●大規模災害発生時の経済的支援

大規模な災害が発生した際、罹災状況によって学費を50%もしくは100%減免するなど、経済的支援を行う制度を設けています。

その他にも大学生が利用できる「独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）」などの外部団体の奨学金や、地方自治体の奨学金もあります。本学を通じて申し込むものと、団体に直接申し込むものがありますので、詳しくはそれぞれの団体にお問い合わせください。

本学は、国による「高等教育の修学支援新制度」の対象校です

XII 障がいおよび病気等のある方へ

◆障がいや病気等の理由により、入学試験当日および入学後の修学に関する配慮を必要とする受験希望者は、本学公式ホームページでご案内している申請の方法や受験上の配慮例を確認のうえ、以下に記載の期日までに本学入試センターまでご相談ください。事前の申請がない場合、または期日後の申請については、入学試験において配慮できない場合がありますのでご注意ください。

※給費生試験、一般入試（前期）【全学統一型】の地区試験会場では、配慮できない場合があります。

総合型選抜（総合評価型）等、10月に受験予定の方	2026年8月21日（金）
総合型選抜（適性検査型）等、11月に受験予定の方	2026年10月2日（金）
給費生試験・外国人留学生入試を受験予定の方	2026年10月30日（金）
一般入試（前期）・大学入学共通テスト利用入試（前期）を受験予定の方	2026年12月4日（金）
一般入試（後期）・大学入学共通テスト利用入試（後期）を受験予定の方	2027年1月15日（金）

また、試験当日に配慮を必要とせず、入学後の修学に関する配慮が必要となる場合は、大学での生活にスムーズに移行できるよう、合格後速やかに申し出てください。なお、海外留学を必須とする学科を志望する場合や、必須でない場合でも、海外留学を強く希望する場合は、出願開始の2か月前までにお申し出ください。

- ◆試験当日に拡大鏡、補聴器、車椅子の使用等を希望する場合にも期日までの相談をお願いします。
- ◆不慮の事故等により、出願後に配慮が必要になった場合は、速やかに申し出てください。

※オープンキャンパス・大学見学では、大学の状況を知ることができ、入学後の修学に関する配慮について相談することもできますので、予約をしたうえでお願いします。なお、電話での個別相談も受け付けています。

障がいの種類	受験上の配慮対象となる例
視覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能または著しく困難な程度の者 ・視力以外の視機能障がいが高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能または著しく困難な程度の者 ・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
聴覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 ・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> ・体幹の機能障がいにより座位を保つことができない者または困難な者 ・両上肢の機能障がい著しい者 ・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
病弱	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療または生活規制を必要とする程度の者またはこれに準ずる者
発達障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・学習障がい、注意欠如・多動症（注意欠陥多動性障がい）、自閉スペクトラム症（自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい等）等のため配慮を必要とする者
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・上記以外の者で配慮を必要とする者

※受験上の配慮の有無に関わらず、移動しやすい座席配置を採用しています。

XIII 入試結果

2026年度入学試験結果は本学公式ホームページに掲載されています。



XIV アクセス

ACCESS

主要駅から神奈川大学の最寄り駅までの時間



横浜駅	東急東横線 白楽駅まで5分 みなとみらい線 みなとみらい駅まで3分	千葉駅	総武・横須賀線「横浜」→ 東急東横線 白楽駅まで76分 総武・横須賀線「横浜」→ みなとみらい線 みなとみらい駅まで73分
新宿駅	山手線「渋谷」→ 東急東横線 白楽駅まで30分 山手線「渋谷」→ 東急東横線・みなとみらい線 みなとみらい駅まで35分	東京駅	東海道本線「横浜」→ 東急東横線 白楽駅まで31分 東海道本線「横浜」→ みなとみらい線 みなとみらい駅まで28分
三島駅	東海道新幹線「新横浜」→ 横浜線「菊名」→ 東急東横線 白楽駅まで44分 東海道新幹線「新横浜」→ 横浜線「菊名」→ 東急東横線・みなとみらい線 みなとみらい駅まで51分	渋谷駅	東急東横線 白楽駅まで23分 東急東横線・みなとみらい線 みなとみらい駅まで28分
新横浜駅	横浜線「菊名」→ 東急東横線 白楽駅まで5分 横浜線「菊名」→ 東急東横線・みなとみらい線 みなとみらい駅まで14分	八王子駅	横浜線「菊名」→ 東急東横線 白楽駅まで53分 横浜線「菊名」→ 東急東横線・みなとみらい線 みなとみらい駅まで57分
池袋駅	副都心線・東急東横線 白楽駅まで34分 副都心線・東急東横線・みなとみらい線 みなとみらい駅まで39分	羽田空港	京浜急行リムジンバス「横浜駅(YCAT)」行 横浜駅まで約31分 京急本線 横浜駅まで約17分
大宮駅	宇都宮線／高崎線「横浜」→ 東急東横線 白楽駅まで66分 宇都宮線／高崎線「横浜」→ みなとみらい線 みなとみらい駅まで64分		

※所要時間は乗り換えなどの時間を含みません。

横浜キャンパス

〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL:045-481-5661(代)



東急東横線「白楽駅」または「東白楽駅」下車
➤徒歩 約13分

横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バスを利用
(東神奈川駅西口経由)
➤約14分

1番のりば【36系統】西菅田団地/緑車庫前行
「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車

1番のりば【82系統】八反橋/神大寺入口行
「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車

片倉町駅前(横浜市営地下鉄)から横浜市営バスを利用
➤約14分

2番のりば【36・82系統】東神奈川駅西口/横浜駅西口行
「六角橋西町」または「神奈川大学入口」下車

横浜駅西口からタクシーを利用
➤約10分

事務局のある1号館や入試センター・セレストホールのある16号館へは「神奈川大学入口」で、20・23号館や神奈川大学生協へ行く場合は「六角橋西町」で下車すると便利です。
*駐車場はありません。

みなとみらいキャンパス

〒220-8739 神奈川県横浜市西区みなとみらい4-5-3
TEL: 045-664-3710(代)



みなとみらい線「みなとみらい駅」下車 ➤徒歩 約6分

みなとみらい線「新高島駅」下車 ➤徒歩 約4分

JR・東急東横線・京急本線・相鉄本線・横浜市営地下鉄「横浜駅」下車
➤徒歩 約11分

JR・横浜市営地下鉄「桜木町駅」下車 ➤徒歩 約12分

*駐車場・駐輪場はありません。



神奈川大学の個人情報（及び保有個人データ）の取り扱いについて

神奈川大学では、教育、研究及び学生支援に必要な業務を遂行するため、十分な安全管理措置を講じた上で、以下の利用目的を定め、その達成のために個人情報（及び保有個人データ）を利用します。また、これらの利用目的を変更する場合は、変更前の利用目的と関連性を有すると合理的に認められる範囲において行い、変更した利用目的を本人に通知又は公表します。資料請求等にあたって入試センターにお知らせいただいた個人情報については、以下のとおり取り扱います。

◆個人情報（及び保有個人データ）の利用目的

お知らせいただいた個人情報（及び保有個人データ）は、以下の利用目的のために使用します。

1. 志願者の個人情報（及び保有個人データ）
 - (1) 受験情報誌、入学試験要領等の送付のため
 - (2) オープンキャンパス、相談会等の案内のため
 - (3) その他入試広報のため
2. 出願者の個人情報（及び保有個人データ）
 - (1) 受験票等の発行及び送付のため
 - (2) 入学試験の運営のため
 - (3) 入学試験の調査及び分析のため
3. 合格者の個人情報（及び保有個人データ）
 - (1) 入学手続書類等の作成及び送付のため
 - (2) 入学辞退等の手続のため
 - (3) 入学前教育のため
 - (4) 入学後の習熟度別クラス編成のため
 - (5) 入学試験の調査及び分析のため

◆個人情報（及び保有個人データ）の第三者提供について

1. 神奈川大学では、個人情報（及び保有個人データ）の第三者提供は、以下の場合に限り行います。
 本法人は個人情報保護法第27条に基づき、次に掲げる場合を除くほか、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人情報（個人データ）を第三者に提供しません。
 - (1) 法令に基づく場合
 - (2) 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。
 - (3) 公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。
 - (4) 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
 - (5) 個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除き、当該個人データの提供が学術研究の成果の公表又は教授のためやむを得ないとき。
 - (6) 当該個人データを提供する目的の一部又は全部が学術研究目的である場合であって、個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除き、当該個人データを学術研究目的で提供する必要があるとき。ただし、本法人と当該第三者が共同して学術研究を行う場合に限る。
 - (7) 当該個人データを取り扱う目的の一部が学術研究目的である場合を含み、個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除き、当該第三者が学術研究機関等である場合であって、当該第三者が当該個人データを学術研究目的で取り扱う必要があるとき。

なお、利用目的の達成に必要な範囲内において、個人情報の全部又は一部を委託する場合は、第三者への提供に該当しません。

2. 業務委託等について

本法人は、個人情報の取扱いを含む業務の一部又は全部を学外の業者等（以下「受託者」という。）に委託する場合、守秘義務を明記した契約の締結とともに、業務目的の達成に必要な範囲内において情報を提供するものとし、個人情報の安全管理が図られるよう、別に定める個人情報の取扱業務に関する委託先管理基準に基づき、受託者に対する必要かつ適切な監督を行います。

◆個人情報の取扱い等に関する問合せについて

この個人情報の取扱いに関する問合せ、個人情報の内容の開示、訂正等の申出については、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先】 神奈川大学 入試センター TEL : 045-481-5857（月～金曜日 9:00～16:00）
 E-mail : admissioncenter@kanagawa-u.ac.jp

神奈川大学入試センター

〒221-8624 横浜市神奈川区六角橋 3-26-1

(TEL) 045-481-5857

(FAX) 045-481-5759

神奈川大学公式ホームページ <https://www.kanagawa-u.ac.jp/>